

学校だより

明治3年3月3日創立

立川市立第一小学校

校長 神田 恭司



〈令和8年2月27日発行〉

【学校教育目標】

- ◎ 自分で考え 行動する子
- 心豊かで 思いやりのある子
- 体をきたえ 元気な子

コミュニティ・スクール「家庭・地域とともに歩む教育活動の推進」

〒190-0023 立川市柴崎町2丁目20番3号

TEL 042-523-4428

042-522-2114 (あおぞら学級)

FAX 042-529-0840

URL <https://www.tachikawa-edu.jp/es01/>



「学校教育発祥之地」

校長 神田 恭司

2月10日の「学校公開」「道徳授業地区公開講座」に多くの方々にご来校いただきありがとうございました。「1、2学期に増し、落ち着いて学習する姿に子どもの成長を感じました。」等の感想も寄せていただきました。

道徳授業地区公開講座の意見交換会では、町田市学校支援センターの宮島 徹先生を講師にお招きし、「子どもたちの豊かな心を育てるための大人の役割」について、講演をしていただきました。宮島先生による絵本、「おこだでませんように」の読み聞かせがあり、「ほめて育てる」大切さについて、お話ししていただきました。いただいた資料には、以下のようにあります。

1、否定的な言葉をやめる 2、共感する言葉をかける

「子どもをほめる九つの方法」

- ①好きなことをほめる
- ②チームでほめる
- ③全体より部分をほめる
- ④結果より過程をほめる
- ⑤しつけないことをほめる
- ⑥「できたらほめる」から「ほめたらできる」へ
- ⑦「実物」や「写真」でほめる
- ⑧ほめる言葉のバリエーションを増やす
- ⑨感謝の言葉も誉め言葉

3、「ほめるシステム」をつくる 「大切な大人・親の姿勢（一貫性、持続性、身をもって示す姿）」とあります。改めて、子どもたちをほめて育てる大切さを再確認いたしました。

第一小学校の校庭のブランコの近くに「板谷元右衛門翁之像」があります。校庭や学校で過ごす子どもたちを、いつも優しい眼差しで見守っています。板谷翁は、明治3年3月3日普濟寺境内の心源庵に郷学校を開き、その後名称を変え、今の第一小学校に至っています。また、校長室には、「学校教育発祥之地」の文書が掲げられています。学校教育の歩みとともに、第一小学校では、その歴史と伝統を引き継ぎ、多くの子どもたちが学び、育まれてきました。創立156年の歴史の最先端である令和7年度の教育活動を、保護者、地域の方々に支えられ進めてこられたことに感謝いたします。

早いもので、本年度も締めくくりの月を迎えました。子どもたちは、この一年間で心も体も大きく成長し、それぞれの学年のまとめに真剣に取り組んでいます。日々の学習や行事、友達とのかかわりを通して培ってきた力は、確かな自信となり、次の学年へとつながっていきます。これもひとえに、保護者、地域の皆様のおかげです。学校の教育活動に寄り添い、見守り、励ましてくださったことに、教職員一同、心より感謝申し上げます。

まもなく、卒業式・終了式を迎えます。6年生は学び舎を巣立ち、新しい世界へ歩みだします。在校生もまた、一つ上の学年へと進みます。子どもたち一人一人が、この一年の自分の頑張りに誇りをもち、希望を胸に新しい一步を踏み出してほしいと願っています。



板谷元右衛門翁之像